

日本地学教育学会 2023 年度第 3 回常務委員会議事録

日時：2024 年 1 月 30 日（火）18 時 00 分～19 時 20 分

場所：Zoom による Web 会議

出席者：川村教一，藤岡達也，三次徳二，伊藤孝，伊藤信成，上栗伸一，小森次郎，澤口隆，菅原久誠，高橋修，中林俊明，西浦慎悟，平田豊誠，藤原靖，廣木義久，吉本直弘，松本現，南島正重，渡来めぐみ（計 19 名）

議 題：

1. 前回（2023 年度第 2 回）議事録の確認（伊藤）

2. 常務委員会 2023/12/8 メール会議の確認（伊藤）

日本地学教育学会 2023 年度第 1 回常務委員会において承認された滞納 5 年目にあたる 9 名の除籍者のうち，未納分会費支払いが確認された 1 名に対して除籍措置を無効とすることとした。

3. 次期編集委員会のメンバーについて（その 1）（上栗）

次期編集委員会委員長・副委員長候補者として，現副委員長である伊藤信成・平田豊誠両会員を適任であるとした。なお，委員長の決定は後日とする。また，次期副委員長候補者は，現編集委員の構成員から選定途中である。

4. 有料購読会員の扱いについて（吉本）

有料購読会員から問い合わせがあった分割払いに関し議論した。現時点では，分割払いが制度として定められていない。そのため，学会暦 2023 年度分に関しては，これまでどおり一括払いでお納め頂くようお願いする。また次年度以降に関しては，業務委託先である国際文献社とも相談の上，次回以降の常務委員会で決定する。

5. 日本地学教育学会第 78 回全国大会（大分大会）の準備状況について（三次）

大分大会の第一案内（案）を検討した。微修正の上，なるべく早い時期に，学会ニュースレターでの発信，および学会ウェブサイトで公開することとした。

6. J-Stage を介した『地学教育』の公開指針について（伊藤）

日本地学教育学会 2023 年度第 1 回常務委員会（2023 年 9 月 25 日開催）以降に行った J-Stage を介した『地学教育』の公開指針アンケート結果に関する会員への広報について情報共有を行った。また，大分大会時に開催予定の評議員会・総会で議論予定の公開指針につ

いて、今後の議論や広報の進め方について確認した。

7. 一般社団法人 防災学術連携体について（藤岡）

防災学術連携体の成り立ち・活動内容について情報を共有した。本学会が防災学術連携体に加入するか否か、予算・会員サービス等の面から継続審議とする。

8. 会勢および会計について（中林）

入会者は2名、退会者は0名であった。会員種別変更は、正会員から正会員・冊子体購読が3名であった。また、2024年1月26日締め超過頁料10件、別刷料11件はすべて受領済みである。

*正会員387、購読有料会員21、購読無料会員23、学生9、在外0、シニア会員75、名誉3：合計518（なお、この会員数には、議題2の除籍処分の無効分はすでに反映されている）

報 告：

1. 各種委員会報告

1) 地学教育編集委員会（上栗）

第76巻第3号については公開に向け編集が進行している。第4号の掲載論文数は3編の予定。これ以外の受け付け済み原稿数は8編。内訳は、C判定が4編、査読中あるいはこれから査読に回るのが4編。

2) 地学教育編集委員会（廣木）

「みんなの地学」第5号の投稿は12月末で締め切られ、現在、原稿の編集作業中である。特集4編、実践報告4編の構成となる予定である。

3. その他

1) 2023年度海外巡検について（川村）

2023年12月に実施された海外巡検（タイ国サトゥーンジオパーク巡検）の実施概要について報告がなされた。詳細は久田会員から別途報告がなされる予定。

2) 2024年連合大会での発表要請について（川村）

JpGU側から、2024年連合大会における学術出版に関するセッションでの発表呼びかけがあった。検討の結果、投稿〆切りまでの要旨作成・開催日に参加できる会員の確保等が困難であることから、今回は発表を見合わせることにした。

3) 会員からの個別問い合わせ案件について（川村）

会員から問い合わせがあった正会員からシニア会員への種別変更の受け付け窓口を確認した。